

地域のエンパワメントと 社会的合意の形成

健康影響評価（HIA）に関する国際セミナー

2012年12月1日（土）10:00~18:00（開場 9:30）

熊本学園大学 11号館 7階 1173教室



プログラム ※参加費無料

10:00 特別講演

テーマ：社会的合意形成の思想と技術：
『空間の履歴』という考え方

講演者：桑子 敏雄（東京工業大学教授）

13:30 パネルディスカッション

コーディネーター：宮北 隆志（熊本学園大学教授）

パネラー：

1. 「健康の社会的決定要因と健康影響評価」
藤野 善久（産業医科大学・公衆衛生学教室）
2. 「日本での健康影響評価の適用と課題」
原 邦夫（帝京平成大学）
3. 「タイにおける地域に根ざした健康影響評価の実践」
ソンボン・ペンカン（タイ国家健康委員会）

開催趣旨

今回のセミナーにおいては、健康の社会的決定要因（Social Determinants of Health: SDH）の考え方に基づき開発されたヘルスプロモーション（オタワ憲章）実践のツールとしての健康影響評価（Health Impact Assessment: HIA）の概念、理論、方法と課題について、日本とタイ両国からの報告を受け”Health in All Policies: HiAP（すべての政策に健康の視点を！）”を実現するためのプロセスへの住民参加のあり方、社会的合意形成の方法とその課題について議論します。

問い合わせ先
熊本学園大学水俣学研究センター
電話：096-364-8913